

- 問1 令状主義の例外として、裁判官が発行する令状がなくても逮捕ができる「現行犯逮捕」が認められている理由として、適切なものはどれですか。
（2017年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 警察官が複数人で現行犯であることを確認していれば、それは裁判官の令状と同等の効力を持つため | 2. 死刑や無期懲役などの重大な犯罪については、手続きを簡略化して迅速に処罰するため | 3. 被疑者が自らの罪を完全に認めている場合は、裁判官による審査を行う必要がないため | 4. 目の前で犯罪が行われており、誤認逮捕のおそれなく、緊急に身柄を確保する必要があるため |
|--|--|--|---|
-
- 問2 日本国憲法第21条に規定されている権利の内容について、最も適切に説明しているものはどれですか。
（2021年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|-------------------------------------|---|
| 1. 自分の考えを文章や発言などの様々な形で外部に表現したり、発表したりする自由 | 2. 経済的な理由に関わらず、すべての国民が等しく能力に応じた教育を受ける権利 | 3. 憲法で定められた適正な手続きによらなければ、刑罰を科されない自由 | 4. 国や地方公共団体に対して、損害の救済や法律の制定を求めるために文書で申し出る権利 |
|--|---|-------------------------------------|---|
-
- 問3 日本国憲法が制定された当時には想定されていなかった、プライバシーの権利や環境権、知る権利などは「新しい人権」と呼ばれます。これらの新しい人権を憲法上の権利として認める際の根拠となっている条文と、その内容の組み合わせとして正しいものを選びなさい。
（2023年 青森県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------|-----------------------|----------------------|---------------------|
| 1. 第二十五条：生存権と国の社会保障義務 | 2. 第十四条：法の下での平等と差別の禁止 | 3. 第二十一条：表現の自由と検閲の禁止 | 4. 第十三条：個人の尊重と幸福追求権 |
|-----------------------|-----------------------|----------------------|---------------------|
-
- 問4 日本国憲法第25条に定められた生存権の内容について説明した文として、適切なものはどれですか。
（2022年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 政治に参加して、選挙を通じて自分たちの代表者を選ぶ権利 | 2. 人権が侵害された際に、国に対して損害賠償や裁判を求める権利 | 3. 国からの干渉を受けずに、個人が自由に考えたり行動したりする権利 | 4. すべての国民が人間らしく、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利 |
|--------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
-
- 問5 日本国憲法において、基本的人権は「侵すことのできない永久の権利」とされていますが、個人の権利が他人の人権と衝突する場合、その調整が必要となります。このように、社会全体の共通の利益のために個人の権利を一定の範囲内に留める、人権の制限の根拠となる原理を何といいますか。
（2020年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 法の支配 | 2. 国民主権 | 3. 平和主義 | 4. 公共の福祉 |
|---------|---------|---------|----------|
-
- 問6 男女間の格差を測る指標である「ジェンダーギャップ指数」において、日本の評価を構成する4つの区分のうち、指数が最も低く男女格差が最も大きいと評価されている区分はどれですか。
（2025年 宮崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 教育分野 | 2. 経済分野 | 3. 政治分野 | 4. 健康分野 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問7 日本国憲法第14条が規定する「法の下での平等」の考え方として、最も適切な説明はどれですか。
（2024年 福井県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|--|
| 1. 公共の福祉に反しない限り、どのような思想を持っても不利益を被らないこと | 2. 個人の属性にかかわらず、法を適用する際に不当な差別をせず等しく扱うこと | 3. どのような宗教を信じていても、国家から一切の干渉や制限を受けないこと | 4. 個人の能力や努力の差を認めず、すべての国民に全く同じ結果や報酬を与えること |
|--|--|---------------------------------------|--|
-
- 問8 都市部で見られる、建物の側面を階段状に削ったような形状（セットバック）の建築様式は、近隣の住宅が太陽の光を浴びる機会を損なわないよう配慮したものです。このような、健康で文化的な生活を送るために必要な太陽光を享受する権利を何と言いますか。
（2018年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|----------|--------|----------|
| 1. 肖像権 | 2. アクセス権 | 3. 日照権 | 4. 自己決定権 |
|--------|----------|--------|----------|
-
- 問9 日本国憲法第14条（法の下での平等）の理念を尊重し、アイヌの人々の権利を守るために制定された「アイヌ施策推進法」の説明として、最も適切なものはどれか。
（2025年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 1997年に制定され、アイヌの言葉や伝統文化を保存することのみを目的としており、先住民族の明記はない内容。 | 2. 1899年に制定され、土地の付与などを通じてアイヌの人々の同化を強制的に進めることを目的とした内容。 | 3. 2019年に制定されたが、文化振興にのみ特化しており、アイヌの人々の経済的自立や地域振興は含まない内容。 | 4. 2019年に制定され、アイヌの人々を先住民族と定義し、その誇りが尊重される社会を目指す内容。 |
|--|---|---|---|
-
- 問10 経済活動の自由について、精神の自由（表現の自由など）と比較した場合の特徴や制限に関する説明として、最も適切なものはどれか。
（2023年 福井県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 全ての国民に対して平等な収入を国が保障する権利であるため、個人の努力は関係しない | 2. 個人の経済的利益のみを追求するため、いかなる理由があっても制限されることはない | 3. 経済活動の自由は新しい人権の一種であるため、基本的人権の中には含まれていない | 4. 社会全体の利益や安全を守る「公共の福祉」のために、法律による一定の制限を受けることがある |
|---|--|---|---|
-
- 問11 19世紀までの自由権を中心とした憲法では、貧富の差や失業などの社会的問題を解決できなかったことから、日本国憲法第25条のような「社会権」の考え方が生まれました。この権利の目的として最も適切な説明はどれですか。
（2024年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------------|------------------------------|--|--------------------------------|
| 1. 国家による不当な干渉を排除し、個人の自由な行動を保障すること | 2. 裁判を通じて、侵害された権利の救済を国に求めること | 3. 経済的な弱者が人間らしい生活を送れるよう、国家が積極的に介入して生活を保障すること | 4. 国民が政治に参加する権利を認め、民主主義を徹底すること |
|-----------------------------------|------------------------------|--|--------------------------------|
-
- 問12 人権の分類において、18世紀の市民革命期から確立されてきた「国家からの自由」を意味する権利と、20世紀に登場した「国家による自由（社会権）」は性質が異なります。次の記述のうち、自由権に分類される「職業選択の自由」や「財産権」の説明として正しいものを選びなさい。
（2017年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 個人が自分の意思で経済的な活動を行う際、国から不当な干渉や制限を受けないことを保障する権利 | 2. 人種や信条、性別、社会的身分などによって差別されないよう、平等な扱いを求める権利 | 3. 選挙を通じて政治に参加したり、裁判を通じて権利の救済を国に求めたりする権利 | 4. 生活に困窮した際、国に対して健康で文化的な最低限度の生活を保障するよう求める権利 |
|--|---|--|---|